

# BDI エアロゾル吸入療法の実際

## 1) はじめに

気管支喘息は、アレルギー反応を含めいろいろな原因で気道に炎症が起こっている疾患です。この炎症により、発作のないときでも気道の腫れ・キズが持続している状況が存在しています。

## 2) BDI とは、ベクロメタゾンの略号です。

吸入用のステロイド剤です。内服ステロイド剤に比べ、全身への副作用がほとんどみられず、吸入された気道に対し強力な抗炎症作用を発揮します。そして、気道の腫れやキズを治します。

## 3) どのような喘息の方に適応となるのでしょうか。

気管支拡張作用のある  $\beta_2$  刺激剤を吸入したり内服しても喘息発作が頻回にみられる中等症以上の小児に併用されます。つまり、初期治療に反応せずコントロール不良の場合に使用され、大きな喘息発作を予防します。

## 4) BDI 吸入療法の具体的方法

\* 薬の名前は、アルデシン・ベコタイドです。

\* 約 2 週間から 1 カ月続けます。長期も可能です。

一噴霧 (50  $\mu$  グラム)

一回二噴霧づつ一日 2 から 3 回吸入します。

## 5) 吸入補助具で確実に薬剤が気道に入るようにします。

ボルマチック、インスパイヤーイースがあります。

